



福山高等学校
図書館便り
No. 5
(R元.9.30号)

Library News



9月の花
【コスモス】
花言葉は
〈少女の純潔〉

朝晩日毎に冷え込んできました。昼間はまだ暑いですね。季節の変わり目は体調を崩しやすいです。しっかりと体調管理をして、季節の変わり目を元気に乗り切りましょう。

さて、この時期になると『秋といえば、スポーツの秋、食欲の秋、そして読書の秋ですね。』という言葉を書かねばならないでしょう！今年のみなさんの秋を、図書館といたしましては『読書の秋』にちょっとでもしていただきたい！ということで、8月にだした新刊、そして10月初旬に並べる予定の新刊の中から数冊ご紹介します。

①『ほぼ100字』シリーズ

北野勇作 著
KINOBOOKS

その先には何が!?じわじわ気になるほぼ100字の小説

たった100字の短い物語が、君の頭を刺激する。すぐに読めてたっぷり楽しめる130話。ツイッターでウワサの「ほぼ百字小説」を、いつでもどこにでも持ち歩けるサイズで書籍化。



その正体は何だ!?じわじわ気になるほぼ100字の小説

なんだろう、この怖いもの見たさ…。たった100字の短い物語が、君の頭を支配する。謎の生き物を閉じ込めた130話。



この世界は何だ!?じわじわ気になるほぼ100字の小説

そこは未来なのか、過去なのか。おわりなのか、はじまりなのか。たった100字の短い物語が誘い込む。異空間をさまよう130話を収録。



(感想) 想像を止められない！

(感想) 少しずつ、
気楽に、気分転換的に、
でも、刺激的に読める

(感想) この先は知りたくないとい
うゾットする話、逆にここで終わ
り?と思うものなど、盛りだくさん

(感想) 頭の中でイメージが
どんどん膨らんでいく

②小説『はたらく細胞』

清水 茜 原作・行方
時海 結以 著
講談社

体内をめぐる酸素を届けている赤血球（主人公）は、方向音痴。侵入した細菌を駆除するのは、クールで強い白血球（好中球）。大ベストセラーの体内細胞擬人化漫画『はたらく細胞』が小説で楽しめます！続編は風邪、食中毒といった症状や、消化器のはたらきもよく分かる内容です（講談社HPより）。図書館には小説の1・2巻、『からだのしくみを学べる！はたらく細胞 人体のふしぎ図鑑』を10月はじめ頃に並べる予定です。



他にも面白そうな新刊が並びます。図書館に来て、たくさん借りてくださいね。新刊のリストは図書館前とA棟入口の壁に掲示しますのでご覧ください。リクエストも随時受け付けています。素敵な『読書の秋』にしてくださいね。



県ビブリオバトル大会で紹介された本、読んでみませんか？

8月25日、始良市で2019年度高校生ビブリオバトル大会が行われました。県内から45人の高校生が集まり、熱戦が繰り広げられました。福山高校からもバトラーとして3G石塚さんが、ボランティアとして2G井上さんと2C岡元さんが参加してくれました。今回紹介された本は、バトラーそれぞれが『面白いからみんなに読んでほしい！』と持ちよった本ですので、福山高校のみなさんにも読んでもらいたいと思っています。特設コーナーを設けますので、是非手にとってみてくださいね。

★チャンプ本★

新世界より

貴志祐介 著

福高図書館では文庫サイズのものがあり、上中下と分かれています。



1000年後の日本。「呪力(じゆりょく)」こと、念動力を手に入れた人類は、「悪鬼(あくき)」と「業魔(ごうま)」という忌まわしい伝説に怯えつつも、平和な社会を築いていた。しかし、学校の徹底した管理下にあった子供たちが、禁を犯したため、突然の悪夢が襲いかかる！崩れ去る見せかけの平和。異形のアーカイブが語る、人類の血塗られた歴史の真実とは!?

(講談社HPより)

(本選で紹介された本で、福高図書館にあるもの)

『怪物はささやく』パトリック・ネス著

『流星コーリング』河邊 徹 著

『カラスの親指』道尾 秀介 著